

つながり

紀南病院スローガン(23年9月～) その態度 その言葉 一日の終わりに反省を



クリスマスコンサート(12月16日)



脳外科外来

■病院理念

優しく、温かい、確かな医療を提供し、紀南の環境文化に根ざした地域連携の充実に努めます

■基本方針

1. サービス精神(KINAN)の徹底
——(K)気持ちこめて、(I)いつまでも、(N)納得のいく、(A)安心で安全な、
(N)任務の遂行
2. 患者さんの権利を尊重し、わかりやすい説明を励行
3. 生活の質の向上(QOL:quality of life)を中心とした診療と援助
4. 行政や医師会と協同した地域医療の向上
(救急医療・高齢者医療・健診・地域連携・福祉など)
5. 職員研修の強化と遠隔地医療教育の必須化
6. 職場環境の改善と健全な病院経営に基づく医療環境の提供

副院長に中井桂司先生が赴任



1月1日付けで、当院副院長として中井桂司先生が赴任されました。

中井先生は、出身は奈良県ですが、少学3年生から中学2年生までを熊野市の紀和町で過ごされました。三重大学医学部を卒業後、同大学附属病院、信州大学医学部附属病院、岡波総合病院、富士見高原病院勤務を経て当院に赴任されました。

台風12号により被害を受けた紀南地域のために力になりたいという中井先生の思いと、当院からの熱いラブコールが実った形で今回の赴任が決まりました。

当院では、内科診療を中心に、病院マネジメントや地域医療の体制の構築などにも携わり、研修医や医学生、病院スタッフの教育の手助けもしたいと抱負を語っておられます。

紀南での研修を終えて

東京大学医学部附属病院 研修医 山崎 広貴

研修をすべて終え、帰る汽車から望む田園風景は、すっかり冬模様です。5か月前、期待と不安を胸に紀南へ向かう車窓には、青々と茂る稲が鮮やかでした。それらはすっかり土壌におうど色に溶け込み、今は代わりにみかんの橙色が鮮やかです。

東京大学医学部附属病院から、地域医療研修として8月から12月までお世話になりました。病棟勤務を基本にしつつ、診療所、入所施設、地域の方々のご自宅、観光スポットなどなど、あらゆる場所へ出かけていきました。紀南で過ごす時間を重ねるにつれ、この地域の医療・文化・人間性が体に染み込んでいく感覚を覚え、そのことに喜びや楽しみを感じる日々で

した。

病院のスタッフは、田舎だからといって質の低い医療とならぬよう、懸命な努力をしていました。地域へ自ら赴いての住民との交流、寝る間もない救急対応・・・地域医療とは何か、答えを必死に探りながら、地域に身を置いて泥臭い努力を続けている医療スタッフの皆様に出会い、心を打たれました。医学知識・技量のみならず、医療人としての精神性、世界観も大きく成長したように感じています。

幾多の経験の中でも、台風12号による被災はとくに忘れえぬものとなりました。天変地異ともいふべき雨、風、雷。日常が水に浸かり、流され、破壊される恐怖。地域全体が被害を受け、医療スタッフも被害を受ける中で、紀南病院には次々と患者さんが来院・搬送されました。大きな不安を抱えながら、少ない医療資源で多くのこと未知のことに対峙しなければならない状況でした。被災の急性期を過ぎてからは各地に足を運びましたが、そこで見た被災状況は思っていた以上であり、そしてまだそれは全然終わっていないのでした。東日本大震災が大きく取り上げられる中、同じように自然の脅威にさらされた方々がここにもいて、その被害がなおも続いているという実態。被災に伴う人々の思い、病院の苦労、復興再建への努力・・・被災とは如何なることかということへの想像力は、東京で安穏と暮らしては広がることも深まることもなかったでしょう。そして、これだけの被害を受けても前向きに生きようとする皆様の姿勢に、僕は自身の心を正す思いでした。大変な時期が続くと思いますが、少しでも早い復興を切に祈っております。

地域の皆様に育てられ、支えられて、無事走りきることができました。今

後しばらくは、東京で修業を続けることになりましたが、いつでも僕の心の核の部分には、紀南での経験があることでしょう。この地を離れることに現実味がわきませんが、また何倍も成長して、皆様に再会したいです。本当にどうもありがとうございました。



研修報告会にて



紀南病院 組合議会報告

平成22年度決算は黒字に

平成22年度の決算は7,600万円の黒字決算となり、10月25日に開催されました定例会で認定されました。平成16年度から赤字決算が続いていた中で、今回の黒字となった主な要因は、入院患者が前年比8%増えたこと等によります。紀南病院の経営につきましては累積赤字を抱えておらず、健全な状況です。

北館は耐震工事、本館は改築に向けて

中央館の耐震工事ではご迷惑をおかけする中、皆様にご理解とご協力をいただきましたことに感謝いたします。

北館につきましては、現在設計に入っており、3月に耐震工事に着工する予定です。

本館につきましては、今回、県が作成します地域医療再生計画に乗っかり、本館の改築、CT、MRIの更新を含め4億8千5百万円の国の補助を受けられることとなりました。

12月27日に開催されました臨時議会で、本館改築に向けた基本計画、基本設計予算が承認されました。3年計画で改築事業を行う事となります。

本館改築の目標は、救急受け入れ態勢の充実、ヘリポートの設置、回復期リハ病床の設置、地域医療研修センターの充実等です。

これから具体的な検討に入っていく事となります。本館は建設後47年が経過し、耐震度も低い状況でしたが、この一連の工事が終了すると、紀南病院の建物はすべて耐震基準を満たすこととなります。

★★★★ クリスマスコンサートを開催 ★★★★★



12月16日夕刻、ハートフル委員会主催のクリスマスコンサートが開催されました。

まず紀南病院コーラス部から「小さな世界」、「見上げてごらん夜の星を」、「おしえて」の3曲が披露されました。「小さな世界」は輪唱という新たな挑戦でしたが、リズム感溢れる美しい歌声で観客を魅了しました。

次にピアノ演奏が行われ、当院の看護師・岡崎節子さんによる「芝生の上の踊り」、脳神経外科の仲尾貢二先生による「エリーゼのために」が披露されました。

ピアノ演奏の後は、当院皮膚科の嶋聡子先生によるバイオリン演奏で、「きよしこのよる」、「カボット」の2曲が披露されました。最後に特別演奏として、バイオリン指導の岩本佳子先生、浜口由美先生、病院コーラス部を指導いただいている山路信夫先生によるバイオリン、ピアノ、独唱のセッションで、「G線上のアリア」、「アヴェマリア」、「愛の夢」の3曲が披露されました。

最後はみんなで「もろびとこぞりて」を合唱し、コンサートを締めくくりました。



第12回 紀南病院・きなん苑合同勉強会

10月21日、毎年恒例の紀南病院・きなん苑の合同勉強会が開催されました。

特に、災害を考えるシンポジウムでは、実際に被災した職員から当日の生々しい台風の状況や被災後の厳しい生活が語られました。報告後、地域を支える病院として何ができたのか、何をしていくべきなのかを皆んなで語り合いました。

<発表演題>

第一部 各部門からの自由演題・研究発表

- ・「人権について」 西 隆暁（地域連携室）
- ・「院内感染対策講習会における Q & A」 中山 整（細菌検査室）
- ・「助産師のお仕事 - 紀南病院での取り組み -」 南 久美子（助産師）
- ・「紀南へ来て思うこと」 久保 朗子（眼科）
- ・「平成23年度入浴サービスリニューアル～老人保健施設としての機能を目指して～」 端地 出（きなん苑事務課長補佐）

第二部 研修医からの報告

- ・「紀南病院地域医療研修報告」 市立堺病院 研修医 井村 慎志

第三部 フレッシュマンからの報告 座長：中本 孝幸（放射線科）

- ・川崎 祥平（薬剤部）
- ・田中 義康（リハビリテーション）
- ・濱中 遥（医事課）

第四部 シンポジウム 「台風12号災害から考える」 司会 須崎真院長

- ・被災状況報告：廣畑静副看護部長、奥野正孝内科総括、
- ・シンポジスト：奥野正孝内科総括、廣畑静副看護部長、
浦古俊輔医師、芝孝一事務次長、大久保豊きなん苑副施設長



和みの会（紀南病院がん患者の会）を開催

12月3日、がん患者の会「和みの会」が開催されました。今回はクリスマスということで、「ブレス・ユー」という音楽グループに、クリスマスソングや、普段なかなか聞けない本格的な音楽を演奏していただきました。「ブレス・ユー」はピアノ、ハープの演奏と澄んだ歌声が特徴的な、地元で活躍されているグループで、参加者は日ごろの悩みも忘れ、楽しいひと時を過ごすことができました。

次回の予定は3月4日（日）11時～14時で、『餅つき大会』を計画しています。地域の皆さんも、患者さん、ボランティアさんを問わず、一緒に参加して楽しいひと時を過ごしませんか？（申込先 紀南病院 内線419 看護部 宮向井まで 2・27締切）



平成23年度 看護研究発表会を開催



看護部恒例の研究発表会が去る12月9日に開催されました。これは、現場での気づきの中より良い看護ができるようにと1年間研究に取り組み、発表の場を設けているものです。

今年度の発表演題は、透析室から「血清リン値が高い透析患者の食事管理支援（食物日誌を取り入れてみて）」、整形病棟から「退院への不安を軽減し前向きな気持ちになるための働きかけを試みて（外泊時の指導を実施）」、産婦人科病棟から「褥婦のリラックス効果を知るために好み

のBGMを導入して」などの内容でした。内科総括奥野先生からは、「どれも実践的なもので今後工夫を加えることで使っていけるものである」と講評をうけました。今後の看護活動に是非活かしていきたいと思います。最後に看護部長から「まず患者さんのことを考えて満足していただける看護をしてください。」との言葉があり、発表会を締めくくりました。



紀南病院外来診療担当表

平成 24 年 1 月 6 日現在

区	分	月	火	水	木	金
内 科	1 診	中井桂司副院長	北出 卓医師	中前範子医長(隔週) 西久保公映医師(隔週)	小林 文人医長(ドック診療のみ)	中井桂司副院長
	2 診		中前 範子医長			奥野正孝内科総括
	3 診	小林 文人医長	小林 文人医長	小林 文人医長	小林 文人医長	
	4 診				尾辻典子医師(第1・第3)	
					糖尿病指導	・糖尿病専門外来(月1回) 住田 安弘医師 ・肝臓病専門外来(月1回) 杉本 龍亮医師 ・循環器専門外来(月1回) 山門 徹医師
外 科	1 診	乳腺専門外来(第1月曜日) 小川 朋子医師	須崎 真院長			須崎 真院長
	2 診	大倉 康生医長	大倉 康生医長	大倉 康生医長	伊藤 貴洋医師	伊藤 貴洋医師
整 形 外 科	再 診	中空 繁登医長		中空 繁登医長	濱口 貴彦医師	濱口 貴彦医師
	初 診	濱口 貴彦医師		濱口 貴彦医師	中空 繁登医長	中空 繁登医長
脳神経外科	2 診	仲尾 貢二医長	仲尾 貢二医長	梶尾 廣医師	仲尾 貢二医長	脳ドック専門外来 仲尾 貢二医長
眼 科	1 診	久保 朗子医長 (第1・第3・第5休診)	久保 朗子医長	久保 朗子医長	久保 朗子医長	久保 朗子医長
産 婦 人 科	1 診	紀平 知久医長	山崎 晃裕医師	紀平 知久医長	紀平 知久医長	山崎 晃裕医師
	2 診	山崎 晃裕医師	紀平 知久医長	山崎 晃裕医師	山崎 晃裕医師	紀平 知久医長
小 児 科	1 診	間宮 範人医長	間宮 範人医長	間宮 範人医長	間宮 範人医長	間宮 範人医長
皮 膚 科	1 診	嶋 聡子医長		嶋 聡子医長		嶋 聡子医長
神 経 内 科	1 診			畑中 良夫医師 午前:ドック健診 午後:神経内科診療		成田 有吾医師 木田 博隆医師 谷口 彰医師 松浦 慶太医師 もの忘れ外来(月1回) 佐藤 正之医師
泌 尿 器 科	1 診			岩本 陽一医師		
耳鼻咽喉科	1 診				松浦 徹医師(午前)	
歯科口腔外科	1 診	平本 憲一医長	平本 憲一医長	平本 憲一医長	平本 憲一医長	平本 憲一医長
備 考	* 受付時間は午前7時30分～午前11時30分までとなっております。ただし、急患については時間外でも受付します。なお、当院を初めて受診される患者様及び、診察券をお持ちでない患者様の受付時間は、午前8時からとなります。 * 内科は完全予約制の為、予約が必要です。紹介状があれば電話予約が可能です。健康診断で異常を指摘された場合も、結果票が紹介状の代わりになりますので、予約可能です（地域連携室までお電話下さい）。 * 整形外科・皮膚科の受付時間は午前7時30分～11時までとなります。 * 神経内科は完全予約制の為、予約が必要です。紹介状があれば電話予約が可能です（地域連携室までお電話下さい）。初診は水曜日となります。 * 眼科は、第1・第3・第5月曜日は休診となります。 * 泌尿器科は完全予約制の為、予約が必要です。紹介状があれば電話予約が可能です（地域連携室までお電話下さい）。					



S 先生との思い出

地域連携室 金井秀史

それは4人の研修中の先生を乗せて運転していた時のこと。会話の中から、S先生のサッカーに対する熱意、知識が並大抵でないことが伝わってきた。将来はJリーグのチームドクターになりたいとも。私に質問が来た。「金井さん、解説者に金田喜稔（かねだのぶとし）っているでしょ。現役時代はどういう選手だったのですか。」私は今だかつて、これほどの「して欲しかった質問」を受けたことが無い。スピードを40キロに落として、興奮を鎮めた。

S先生にはわかるのだ。53歳の金田が、「何か」を持っていることを。私は言葉を選んで、最も驚かされたサッカー選手が金田であること、相手を置き去りにし

て、後を追う気力を一瞬で失わせたフェイントなどについて語った。そしてS先生が金田に対して「何か」を感じたとするなら、それは「悔しさ」であると。持てる者がそれに相応しい賞賛を受けることなく引退した無念……。

私の一人語りの後、S先生からは、「いえなが待望論」が語られた。家長昭博、25歳。ようやく日本代表に呼ばれるようになったが、逸材と言われて久しい。同年同月同日生まれのリバル、本田圭佑と対比しながら、家長の中学時代からの話をしてくださった。果たして家長がブレイクする日が来るのか……。

S先生の鼻唄（ひいき）は、出身地、ギラヴァンツ北九州（J2）。将来ホームページで、チームドクターにS先生の名前を見つけたら、「よっしゃー」などと叫びそうな思い出である。